

令和8年度 学校経営構想図

東広島市立向陽中学校

学校経営理念

教職員、生徒、保護者、そして地域との信頼関係を基盤として、これからの社会の変革に向けて、たくましく生き抜いていく人材の育成

「地域本位、学校主体」

「地学協育」

目指す学校像

地域の信頼に支えられながら地域貢献に取り組み、生徒・教職員共に成長を実感できる学校

学校教育目標

知・徳・体の調和がとれ、社会に貢献できる生徒を育てる
～輝く未来へ 主体的に 思いやり
たくましく 挑戦し 貢献する～

「主体性・自己実現」

「社会貢献」

目指す教師像

公務員としての自覚を持ち生徒の自己実現と地域貢献を支えるため、常に自己研鑽に努める教職員

目指す生徒像

自他を大切に、夢の実現に向け意欲的に取り組み、グローバルな思考力と豊かな表現力を有する生徒

令和8年度の重点指導項目

論理的に思考した考えを他者意識をもって、わかりやすく表現できる生徒

教育活動に求める教職員のスタンス（人材育成）

キャリアアップ意欲：自己実現を図り、さらに成長を主体的に図る教職員(指導力の向上)

共感性・人間性：鍛錬を通して、成長の喜びを共に分かち合う(教育的愛情の増進)

主体性

- 自ら課題を見付け解決を図る
- 積極的に自主的に工夫を行う

自己実現と社会貢献意欲

- 伝統文化への愛着と理解
- 社会貢献への意欲と自覚
- キャリア教育の視点

耐性・コミュニケーション能力

- 「へこたれない力」の育成
- 協働、受信・発信する能力

わか↑るよ↓ろこび

高↑まる↓意識

つ↑なが↓る絆

各教科

- 基礎基本の徹底
- 必要な資質・能力の指導
- 各種学力調査分析の活用
- 小中連携による系統的指導
- 指導と評価の一体化

総合的な学習の時間

- 資質・能力を育成する授業
- 教科等と関連した単元設計
- キャリア教育の視点
- 和文文化学習 SDGs 学習
- 郷土の教育資源・人材を活用

道徳・特別活動

- より良い生き方を求めるための創造的な力の向上
- 主体的・協働的に社会参画を考える意欲・態度
- 個人の尊厳、人権尊重

主 体 的 で 探 究 的 な 「学 び」

「意欲」 ↑ 「環境」

確かな学力

- ・思考力・判断力・表現力、知識・技能、学びに向かう姿勢
- ・探究的な学習、協同的な学習、体験活動の重視、言語活動の充実、タブレットの活用、電子教科書の一般化
- ・授業改善に向けた職員研修（学力調査の活用、校内研修、校外研修、自主研修等）
- ・問題解決の学習

豊かな心

- ・積極的な生徒指導の推進（不登校生徒ゼロに向けたスペシャルサポートルームの活用）
- ・道徳教育・人権教育の充実、（ソーシャルスキル、自己肯定感、自己存在感、自己有用感、達成感、自己回復力）
- ・豊かで鋭敏な感性の育成（和文文化学習、地域貢献）

健やかな体

- ・望ましい生活習慣の定着（「向陽三訓」、食習慣、メディアコントロール、健康習慣）
- ・部活動の自主的運営（部活動加入自由化による主体的意識の喚起）
- ・系統化全面展開化した体力づくり（課題解決に向けた全校的取組）
- ・武道「杖道」の実施

信頼される学校

- ・学校運営協議会(コミュニティスクール)の実施（地域教育力の発掘、実効ある学校評価、地域・学校課題の解決）
- ・積極的な広報活動（学校だより、学年通信、ホームページ、マスメディアへの積極的発信）
- ・業務改善の着実な実施（行事等の精選、教職員の働き方改革、費用対効果の視点）